

現行世界史B科目

「(1)世界史への扉」

(2)諸地域世界の形成

ア 西アジア世界・地中海世界
イ 南アジア世界・東南アジア世界
ウ 東アジア世界・内陸アジア世界
エ 時間軸からみる諸地世界

(3)諸地域世界の交流と再編

ア イスラーム世界の形成と拡大
イ ヨーロッパ世界の形成と展開
ウ 内陸アジアの動向と諸地域世界
エ 空間軸からみる諸地域世界

(4)諸地域世界の結合と変容

ア アジア諸地域の繁栄と日本
イ ヨーロッパの拡大と大西洋世界
ウ 産業社会と国民国家の形成
エ 世界市場の形成と日本
オ 資料からよみとく歴史の世界

(5)地球世界の到来

ア 帝国主義と社会の変容
イ 二つの世界大戦と大衆社会の出現
ウ 米ソ冷戦と第三世界
エ グローバル化した世界と日本
オ 資料活用して探究する地球世界の課題

資質・能力

○諸地域世界の歴史に関わる諸事象についての知識や、諸地域世界の歴史の大きな枠組みと展開の理解

○諸資料を収集する、読み取る、まとめる技能

○諸地域世界の歴史に関わる諸事象等の意味や意義、特色や相互の

「歴史総合(仮称)」で習得した歴史の学び方を活用して、歴史に関わる諸事象の意味や意義等を広く深く考察し探究する科目

関連について、世界史の大きな枠組みに関する概念等を活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し、その解決に向けて構想したりする力

○持続可能な社会づくりを視野に入れて、世界や日本の在り方を意欲的に探究しようとする態度など

社会的事象等の歴史的な見方や考え方を右の資質・能力を育む

新必修科目「歴史総合(仮称)」

○世界とそこにおける日本を広く相互的な視野から捉えて、近現代の歴史を理解する科目 ○歴史の推移や変化を踏まえ、課題の解決を視野に入れて、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を考察する科目 ○歴史の大きな転換に着目し、単元の基軸となる問いを設け、資料を活用しながら、歴史の学び方を習得する科目

「世界史に関わる探究科目(仮称)」

○諸地域世界の歴史的特質

多様性

地域性豊かな諸文明の独自性・多様性を扱い、日本を含む諸地域世界間の関係性を重視して、主に時間的なつながりに着目して考察する

○諸地域世界の接触と交流

複合性

接触と交流により複合性を強める諸地域世界の特質を扱い、日本を含む諸地域世界間の関係性の深まりと広がりを重視して、主に空間的なつながりに着目して考察する

○諸地域世界の結合と変容

相互依存性

相互依存性を高める諸地域世界の特質を扱い、日本を含む諸地域世界の構造的なつながりを重視して、主に空間的なつながりの拡大に着目して考察する

○地球世界の到来

多元性

地球規模での一体化と、多元性を深める現代世界の特質を扱い、人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について多面的・多角的に考察し、展望する

↑ 諸資料に基づき、地理的条件や日本の歴史と関連付けて展開 ↓

取り上げることが考えられる題材

自然環境、文明、都市、ポリス、港市、信仰、正統・異端、身分・階級、家産国家、華夷、聖・俗、ネットワーク、市民文化、宮廷文化、啓蒙思想、二重革命、中華思想、財政国家、帝国、世界システム、勢力均衡、拳国一致、人民戦線、集団安全保障、新自由主義、人間の安全保障、持続可能な社会...等

<参考>

○前近代では、「歴史総合(仮称)」で育んだ歴史の学び方を生かして、諸資料を効果的に活用して歴史を考察し表現する。近現代につながる諸地域世界の文化の多様性や複合性を扱い、時間軸(タテ)と空間軸(ヨコ)の変化に着目して理解する。

○近現代では、近現代の諸地域世界の相互依存性や多元性を扱い、近現代の歴史に関わる豊富な資料を活用し、広い視野から考察し表現する学習を通して、主に空間軸(ヨコ)の変化に着目して、現代につながる諸課題を多面的・多角的に考察する。「歴史総合(仮称)」で獲得した概念等に加え、さらに考察を深めるために必要な歴史的な概念等を習得する。